

形態別窒素・リンのデータ処理にミスがありました。令和2年度以前は定量下限値未満を0として処理していましたが、令和3年度以降は定量下限値未満を定量下限値で処理してありました。

修正版では令和3、4年度の定量下限値未満も0として処理しましたので、修正前と比べて、無機態窒素、リン酸態リンは低くなり、有機態窒素は高くなっています。グラフの修正に伴いまして、コメントも修正しました。

| 正 | 誤 |
|---|---|
| <p>無機態窒素は、第二期行動計画期間において概ね横ばいで推移しているが、令和元年度以降はやや増加傾向がみられる。第一期行動計画期間と比較すると、C類型では概ね同程度かやや小さい値で、A類型とB類型では概ね同程度の値で推移している。</p> <p>有機態窒素は、第二期行動計画期間において減少傾向にあり、特に流入負荷量の大きい湾奥部（C類型海域）でその傾向が顕著である。第一期行動計画期間と比較すると、減少傾向は概ね同程度であるが著しくなっている。</p> <p>無機態燐であるリン酸態リンは、第一期行動計画期間において減少傾向を示していたが、第二期行動計画期間において概ね横ばいで推移している。</p> | <p>無機態窒素は、第二期行動計画期間において概ね横ばいで推移していたが、令和元年度以降はやや増加傾向がみられる。第一期行動計画期間と比較すると、C類型では概ね同程度かやや小さい値で、A類型とB類型では概ね同程度の値で推移している。</p> <p>有機態窒素は、第二期行動計画期間において減少傾向にあり、特に流入負荷量の大きい湾奥部（C類型海域）でその傾向が顕著である。第一期行動計画期間と比較すると、減少傾向が著しくなっている。</p> <p>無機態燐であるリン酸態リンは、第一期行動計画期間において減少傾向を示していたが、第二期行動計画期間において概ね横ばいで推移している。</p> |

